令和6年度なは市民活動支援事業

交付団体による成果発表&交流会

令和７年３月１５日(土)になは市民活動支援センターで、なは市民活動支援事業助成金の成果発表＆交流会を開催しました。

なは市民活動支援事業は、那覇市で社会貢献活動を行う市民活動団体に活動資金を助成する事業です。今年度は３３団体の応募があり、１４団体に助成しました。成果発表＆交流会は、助成を受けた団体、支援者、一般市民、行政職員の約４０名が参加し、交流と情報共有の場となりました。

成果発表では、６分間と限られた時間の中で「①工夫したこと、②困ったこと・苦労したこと、③次年度以降の活動について」の３点に絞って発表していただきました。はじめに「在沖ネパール人と協働でつくる災害に強いまちづくり」をテーマに活動するteam AMMA（アンマー）が、在沖縄外国人と地域との「食」を通じた防災コミュニティの醸成のため毎月１回開催していたアンマーモーニングの写真や防災紙芝居を披露しました。また、那覇市自治会長会連合会は、沖縄大学、那覇市（行政）と自治会の三者が協働で自治とは何かを考え実践する人材育成として行った「なはユース自治大学」について発表しました。その他にも、子育て支援、学習支援、健康、地域づくり等多岐にわたる活動の発表がありました。

質疑応答タイムでは、自団体の活動に活かせそうな内容について活発に質問する場面があり、有意義な時間となりました。

交流会は、ワールドカフェ形式で7団体ずつに分けて2回行いました。各テーブルでは団体同士、実施体制や事業の広報についてのアドバイスをし合うなど、「お互いに刺激をもらえた」「今後の活動に活かしていきたい」との声が多くありました。

令和７年度は４月初旬より助成金の公募を開始する予定です！興味をお持ちの団体はぜひご検討ください。詳細は当センターのホームページに掲載予定です。

なはセン通信

Vol.104

2025年 4 月号

目次

なは市民活動支援事業　1
イベント・講座　2
〈第３弾〉COG2024　3
なはセンについて　4

問い合わせ

なは市民活動支援センター
098-861-5024
C-KATU005@city.naha.lg.jp

《第３弾》チャレンジ！オープン！ガバナンス！2024へ挑戦！！

COG最終公開審査会場レポート

３月１６日(日)に東京大学にて、チャレンジ！オープン！ガバナンス２０２４（以下、ＣＯＧ）の最終公開審査が東京大学にて開催されました。

ＣＯＧは、「市民も変わる、行政も変わる!!オープンガバナンス」をテーマに『３つのＤ（データ、デザイン思考、デジタル）』を活用し、ユニークな発想で地域課題を解決することを目的としたアイディアコンペです。今年は全国４６の対象自治体から１１０ものアイディアが集まり、会場では「オープンガバンス賞」をはじめとした、５つの賞を巡っての熱いプレゼンテーションが今年も繰り広げられました。選出された2団体の皆さん！たくさんの感動をありがとうございました！

当日の様子は、
Youtube で見ることができます！
詳しくは、下記のQRコードより

出場した団体からのコメント

東京大学主催のＣＯＧに、ミネコヤとして参加し、フアイナリストとしてウェルビーイングな地域づくりの仕組み「結HUBサイクル」を提案しました。

なは市民協働大学院の講師陣や修了生、行政の皆様のサポートを受けながら、企画をブラッシュアップできました。多様な立場の人が集まり議論することで、内容がより良くなる過程を実感した機会となりました。

賞は逃しましたが、貴重な経験となりました。今後の活動に活かしながら、引き続き楽しく活動をしていきます。応援ありがとうございました。

（ミネコヤ・神谷あゆみ）

ＣＯＧに参加して、地域課題に対し、市民と行政が協力し合うと、地域の特性を生かした素晴らしい活動が実現できると実感した機会となり、学生である私にとっては、「課題」に対してどうアクションをし、続けていくのか考える良いきっかけとなりました。

活動を始めるには【勇気】と【覚悟】と、多くの【アイディア】そして【協力】が不可欠です。人々が積極的に意見を述べ、協力して地域の個性や人とのつながりを良くしていくため、ＣＯＧを多くの人に知ってもらい、挑戦してほしいです。

また、那覇市がこれほど全力でサポートしてくれるとは思っていなかったので、感謝の気持ちでいっぱいです。（ななほしてんとうむし会 興南高校・知念千夏）

ミネコヤの活動

ミネコヤは、首里石嶺町を中心に子どもたちの居場所づくりテーマとした活動をしています。上映会やアーティストを招いての体験イベントや、地域で認知症について学びを深めるための出前授業など…そんなワクワクする活動はコチラのQRからチェック！！

ミネコヤInstagram→

ななほしてんとうむし会の活動

ななほしてんとうむし会は、沖映通りを中心に防災をテーマとして活動しています。防災の勉強会の開催や観光×防災を掛け合わせたオリジナルのマップの作成に取り組んでいます。沖映通りの防災YouTube動画は、コチラのQRからチェック！！

沖映通り防災　YouTube→

映画上映会＆トーク『はざま-母語のための場を探して』

去る3月1日（土）に、若狭公民館にて『はざま−母語のための場を探して』の上映会とトークが沖縄ネパール友好協会（ONFA）の主催のもと開催されました。

前半では、監督である朴基浩氏のバックグラウンドや経験をもとに製作されたIn Between-In Search of Native Language Space-『はざま−母語のための場を探して』が上映されました。本作は、外国ルーツを持つ人々の母語に焦点を当てた作品であり、日本に移民としてきた家族の子ども達が日本で育っていく中で、母国語をどのように習得していくのか、親子の葛藤などを描いたドキュメンタリーです。

上映後には、多文化ネットワークｆｕ！ふ沖縄の大仲るみ子さん（なは市民活動支援センターの登録団体）をファシリテーターに迎え、本作品の制作に関わった上智大学の田中雅子教授、市内で多文化共生に関わる活動をしている団体及び在留外国人の方々の登壇がありました。田中教授からは、都心部のネパール人コミュニティを対象とした調査から、言語の習得は、単に読み書きができるようになるだけではなく、物事の考える基盤に繋がることから、基礎となる言語習得の重要性について話がありました。しかし、日本での在留資格の不安定さから、安定した言語習得にも課題がある現状について触れられました。

県内の事例では、ベトナムにルーツを持つ子どもに日本語を教えている琉球大学の村上教授から、クラス全体で海外にルーツを持つ子どもの母国について学び、それぞれの文化慣習に興味関心を持つこと、そして、共通点を見つけることの大切さを子どもを通じて感じた経験について話がありました。その話を受け、田中教授から、母国語の問題は、当事者だけでなく、受け入れ側も一緒にその言語に興味関心を持つことでその言語価値が高まり、当事者自身の母語を学ぶ意欲にも繋がることから、共に学んでいくことの大切さについて触れられました。

本イベントをきっかけに、母国語の課題や事例について学ぶことができました。

よろず相談

市民活動、NPO設立・運営等に関する相談サービスです。相談ご希望の場合は、原則予約制となっておりますので下記のQRコードより、必要事項をご記入の上、ご予約をお願いいたします。

～相談時間～
月・水・土
10：00～17：00
金
14：00～20：00

申し込みフォーム

ボランティアマッチングコーナー

那覇市人材データバンクとは？
～那覇市のボランティアマッチング～

「ボランティアをしたい個人・団体」と「ボランティアを求める団体」とのマッチングを行い地域社会の課題解決につなげます！

ボランティア登録をする！
ボランティアをしたい方！団体！ボランティアを探している団体もまずは登録から！

ボランティア人材を探してみよう！
スポーツ、ヨガ、英語、ヘアカットができる！など特技や長所を公開しています！

ボランティア体験レポ

イベント名：奥武山ワンダフルフェス2025
主催団体　：奥武山公園運営管理事務所
参加日時　：令和7年3月8日(土)9:30～16:30
実施場所　：奥武山陸上競技場

県内最大級といわれるペットイベント「奥武山ワンダフルフェス2025」にボランティアで参加してきました。内容はイベントブース受付、ドッグラン監視、来場者人数カウントの3か所を1時間ごとの交代で行いました。朝から夕方までの長時間でしたが、かわいいワンちゃんたちを見ながらの活動に終始楽しく活動できました（ワンちゃん好きにおススメのボランティア！でもちょっと体力が必要かも。。）。

一緒に活動したボランティアさんからは「ボランティアしたいけど不安」などの活動へのお気持ちや疑問など色々お聞きすることができ、今後の情報発信方法などの改善に参考となるご意見をいただきました。奥武山公園さんは年間を通して様々なイベント（子供向けやペット関連）を開催しており、当センターからボランティア募集情報を発信する際にはぜひチェックしてみてください。

ボランティア活動の様子

なは市民活動支援センターについて

◆開館時間、休館日

月・火・木・金	9：00-21：00
水・土・日	9：00-17：00
休館日	年末年始・慰霊の日

◆駐車場

なは市民協働プラザ地下駐車場（駐車台数：３９台）
メカルパーキング（駐車台数：７０台）
※なは市民活動支援センターをご利用の場合、駐車料金は減免の対象となります（例：2時間100円、３時間200円）

◆利用ご希望の方へ

なは市民活動支援センターを利用ご希望の方は、**「利用登録」が必要**です（※利用審査があります）。
右のQRコードより利用方法をご確認ください。

◆施設利用料金

※1時間当たりの料金
※オンライン機材貸出可

	定員	面積	料金	冷房
会議室①	８４人	約200㎡	1300円	400円
会議室②③	８０人	約200㎡	1300円	400円
会議室③	３０人	約100㎡	650円	200円
会議室④	８人	約40㎡	200円	100円
会議室⑤	１２人	約30㎡	200円	100円
会議室⑥	１２人	約30㎡	200円	100円
会議室⑦	５人	約30㎡	200円	100円
会議室⑧	２０人	約45㎡	250円	100円
研修室①	１６人	約30㎡	200円	100円
研修室②	１６人	約30㎡	200円	100円

貸し出し中！

なはセンお薦め図書

市民は行政と協働を創れるか

彩流社　編著：河井 孝仁

「市民と行政がタッグを組んでまちをより良いものにするためにはどうすればいいのか？」をテーマに、市民からの目線を主軸に、市民と行政がまちをより良いものにするために協働を手段として取り組んだ事例（千葉県流山市、奈良県生駒市、栃木県那須塩原市）を紹介しています。事例のなかで、行政と市民が業務の発注者、受注者という関係ではなく、同じ方向性に向かい、課題に取り組むことで、新しい取り組みが生まれるのだと学びました。市民と行政のお互いのよいところを活かし、補完しあいながら、まちを良くする方法を学べる図書となっています。これから地域で活動を行っていきたい方、さらに地域を良くしていきたい方、自治体職員に読んでもらいたい1冊です。

講座・イベント

4/12（土）
11:00~15:00

@ 那覇市銘苅2-3-1
なは市民協働プラザ１F

つながるマーケット Tsunagaru Market since 2022

毎月第2土曜日に開催されるマーケット！
沖縄県内中の美味しいモノやテシゴトがぎゅぎゅっと銘苅に集まります。週末に少しだけ足を延ばして、参加してみませんか？

募集

なはセンフードドライブ

なは市民活動支援センターでは、家庭などで消費しきれない食料をこども食堂や生活困窮者支援活動をしている団体へお渡しする活動をしています！

※注意※
- **賞味期限が３か月以上であること**
- **保存が可能なもの**
- **アルコールはNG**
- **外国語表記のもの等（成分表が確認できないもの）**